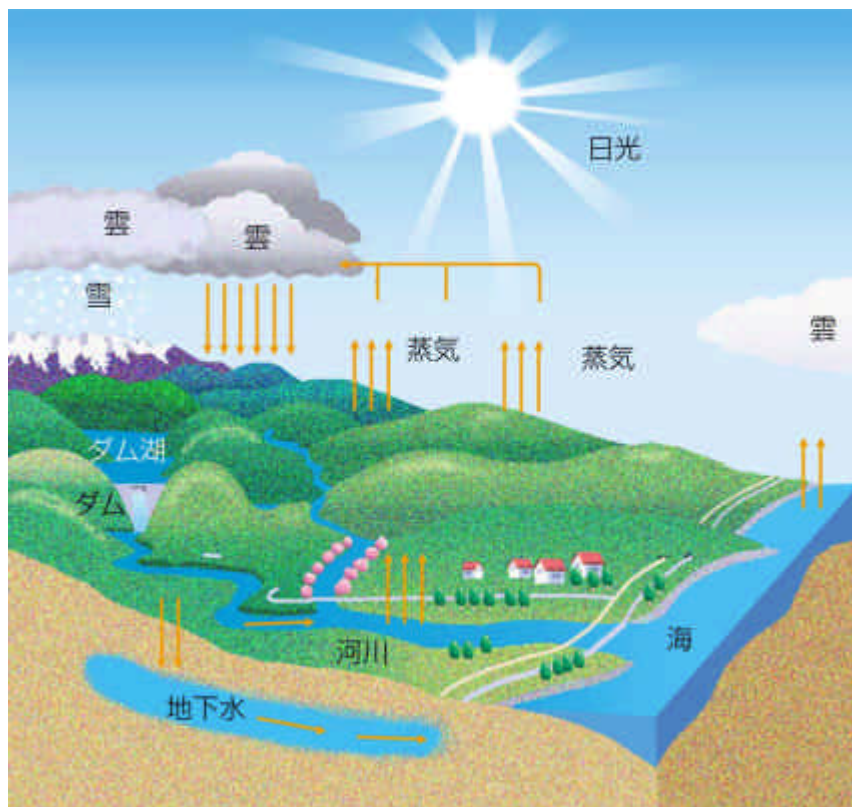

第1章 川の動き

ポイント：

徳島平野の地層は、川や海の堆積作用によって形成された沖積層です。地球を取り巻く水の循環の中で、長い時間をかけて形作られました。川はまた、扇状地、瀬や淵など、いろいろな地形を長い時間をかけて作り出します。

1 - 1 水の循環

海の水が暖められ、水蒸気となって雲になります。雲になった水は、やがて雪や雨として、大地に降り注ぎ、川に流出し、再び海へ戻っていきます。川は、水の大循環の中で、重要な経路の一つになっているのです。

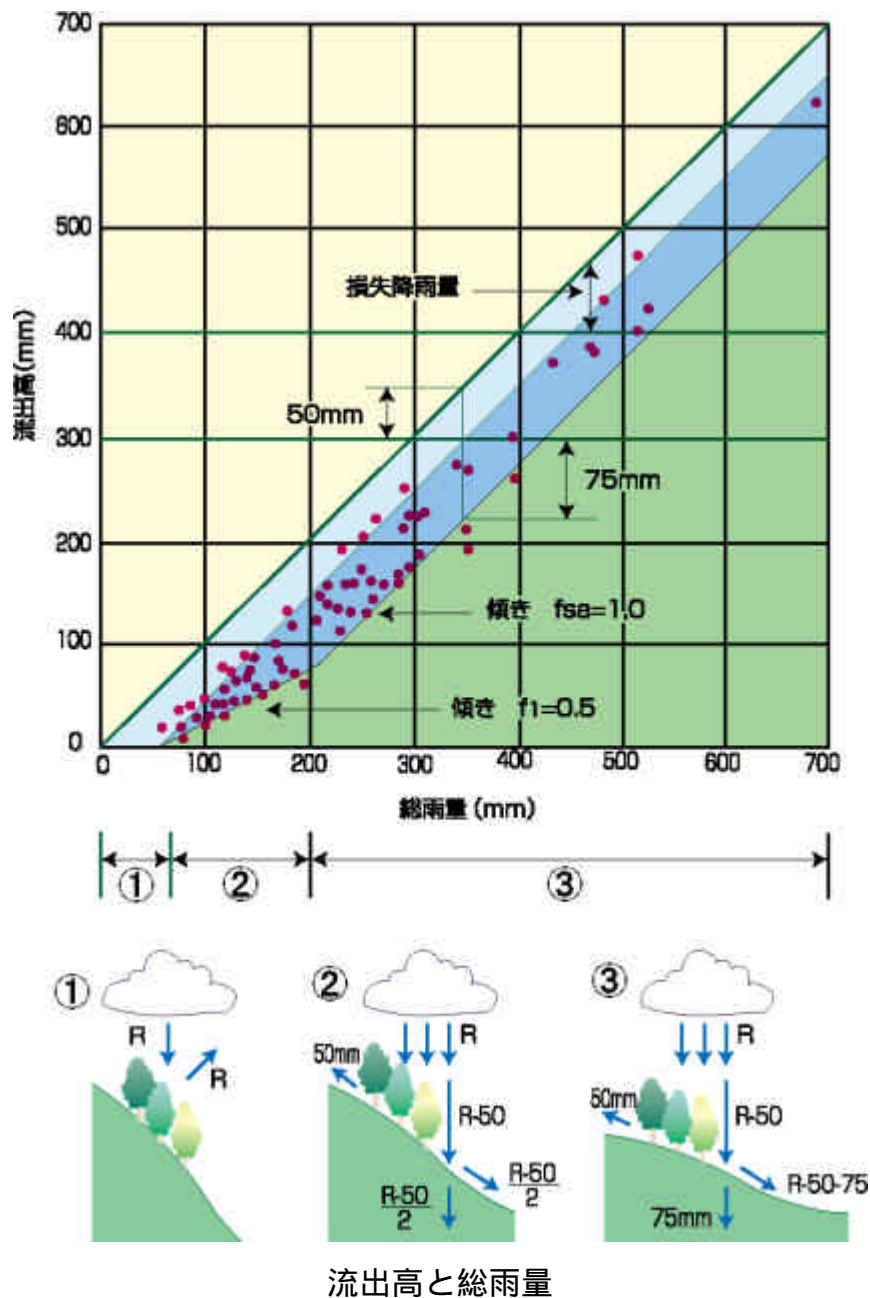


水の循環

一般に、降る雨や雪の約23%が陸上に、77%が海上に降り注ぎます。

陸上に降った23%の雨や雪の中で、15%が蒸発し、8%が川を下って海へ注ぎます。

吉野川はどうでしょうか。早明浦ダム上流における降雨量と流出高との関係から推定した結果を以下に示します。



樹木の葉などによって遮断され、地表に達しない降雨量は、50mmと推定されています。つまり、総雨量が50mm以下の場合、降雨は川へ流れ出てきません。

総雨量が50mmから200mmまでの間では、半分が表土に染み込み、残りの半分が地表を流れます。

総雨量が200mmを超えると、表土が飽和状態になり、ほとんどの降雨は、地表面を流れます。